

(提案6)

○代表派遣：平成26年10—12月期の会議派遣候補者

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者(職名)	備考
			計			
1	日本カナダ女性研究者交流	10月1日	8日	エドモントン・サスカトゥーン	藪田 ひかる 特任連携会員 大阪大学理学研究科助教	国際委員会日本カナダ女性研究者交流分科会 第3区分
		～ 10月8日		カナダ		
2	太陽地球系物理学科学総会(STP-13)及び VarSITI国際協同プログラム第2回運営会議	10月12日	7日	西安	塩川 和夫 特任連携会員 名古屋大学・太陽地球環境研究所教授	SCOSTEP小委員会 第1区分
		～ 10月18日		中国		
3	太陽地球系物理学科学委員会(SCOSTEP) 理事会	10月12日	1日	西安	中村 卓司 特任連携会員 国立極地研究所教授	SCOSTEP小委員会 第2区分
		～ 10月12日		中国		
4	世界工学団体連盟(WFEO)総会・理事会・ 災害リスクマネジメント委員会	11月2日	6日	アブジャ	小松 利光 第三部会員 九州大学特命教授	WFEO分科会 第1区分
		～ 11月7日		ナイジェリア		
5	科学技術データ委員会(CODATA)第24回 国際会議・第29回総会	11月2日	6日	ニューデリー	岩田 修一 連携会員 事業構想大学院大学教授	CODATA分科会 第1区分
		～ 11月7日		インド		
6	国際科学史・科学基礎論連合科学史部会 (IUHPS-DHST)評議会	12月4日	3日	マルセイユ	橋本 毅彦 連携会員 東京大学大学院総合研究科教授	IUHPS分科会 第2区分
		～ 12月6日		フランス		
7	第2回国際科学史・科学基礎論連合科学史 部会(IUHPS-DHST)アジア会議委員会	12月4日	4日	台北	村上 祐子 特任連携会員 東北大学准教授	IUHPS分科会 第3区分
		～ 12月7日		台湾		
8	国際科学会議(ICSU)「都市環境の変化と健 康」科学委員会及び専門家ワークショップ	12月8日	5日	アモイ	花木 啓祐 第三部会員 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授	国際委員会 第3区分
		～ 12月12日		中国		

※ 候補者の会員・連携会員等の種別については、22期現在

提案7は別添なし。

(提案8)

公開シンポジウム「第3回情報学による未来社会のデザインシンポジウム」の開催について

1. 主 催：日本学術会議 情報学委員会 環境知能分科会、独立行政法人科学技術振興機構(JST)
2. 共 催：該当なし
3. 後 援：一般社団法人 情報処理学会(予定)
一般社団法人 電子情報通信学会(予定)
一般社団法人 人工知能学会(予定)
4. 日 時：平成26年12月5日(金) 9:30~18:00
5. 場 所：東京大学 情報学環・福武ホール(福武ラーニングシアター)
6. 分科会の開催：開催予定
7. 開催趣旨：

情報学には、社会システムのデザインを実現していくツールや規範としての役割が大いに期待されている。

今後に向けた新たな研究課題や開発の流れ・うねりを創出するために、JSTと共同主催で、3年間に渡り「情報学による未来社会のデザイン」シンポジウムを開催しており、今回はその3回目(最終回)に当たる。

初回は平成24年11月8日に「大量データに基づく未来社会のデザイン」をテーマに、第2回目は平成25年10月15日に「情報学が拓く ヘルス&ウェルネス」をテーマに行い、情報系のみならず産業界を始め多くの分野から、各々約450名の参加があった。

今回はその第3回目にあたり「人間力・社会力を強化する情報技術」をテーマとする。
8. 次 第：
9:30~10:00 開会挨拶

西田 豊明（日本学術会議連携会員、京都大学大学院情報学研究科教授、
独立行政法人 科学技術振興機構 CREST 研究総括）

10:00～10:30 招待講演

安浦 寛人（日本学術会議第三部会員、九州大学理事・副学長、独立行政法
人科学技術振興機構さきがけ研究総括）

「社会と調和した情報基盤技術の構築」

10:30～11:00 招待講演

萩田 紀博*（日本学術会議連携会員、CREST 研究総括、(株)国際電気通信
基礎技術研究所知能ロボティクス研究所長）

「人と機械のハーモニアスな協働によって生まれる体験共有知識・知恵とは、
—知的情報処理システムの新研究領域—」

11:00～12:00 研究展望「研究領域の取り組みを踏まえた今後の展望について」

中島 秀之*（日本学術会議連携会員、公立ほこだて未来大学学長、さき
がけ「知の創生と情報社会」領域研究総括）

石田 亨*（日本学術会議第三部会員、京都大学大学院情報学研究科教
授、さきがけ「情報環境と人」領域 研究総括）

西田 豊明（日本学術会議連携会員、京都大学大学院情報学研究科教授、
独立行政法人 科学技術振興機構 CREST研究総括）

12:00～13:00 昼食休憩

13:00～14:00 招待講演

岡ノ谷一夫（日本学術会議連携会員、東京大学大学院総合文化研科教授）

「情動の進化と言語の創発」

14:00～15:00 話題提供 各研究領域からの研究紹介

舘 暲*（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学大学院メディア
デザイン研究科教授、（CREST））

「さわれる情報環境 その生成、編集、伝達」

大武 美保子（千葉大学大学院工学研究科准教授、（さきがけ））

「人の賢さ面白さを引き出す会話支援技術」

中澤 篤志（京都大学工学部情報学科准教授、（さきがけ））

「角膜イメージング法による視覚推定とその将来展望」

15:00～15:10 休憩

15:10～15:30 ポスター概要紹介 (1分/件)

15:30～17:50 ポスター発表 (22件)

「情報環境」領域 (10件) :

舘 暲* (日本学術会議連携会員、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授、(CREST))

相澤 清晴* (日本学術会議連携会員、東京大学大学院情報学環工学部教授)

佐藤 洋一 (東京大学生産技術研究所 副所長・教授、ソシオグローバル情報工学研究センター長)

小池 康晴 (東京工業大学ソリューション研究機構教授)

武田 一哉 (名古屋大学情報科学研究科教授)

柏野 牧夫 (東京工業大学 大学院総合理工学研究科教授)

石黒 浩 (大阪大学大学院基礎工学研究科教授)

伊勢 史郎 (東京電機大学 情報環境学部教授)

苗村 健 (東京大学情報理工学系研究科教授)

後藤 真孝 (独立行政法人産業技術総合研究所主席研究員)

「知の創生」領域 (6件) :

赤石 美奈 (法政大学情報科学部教授)

大野 和則 (独立行政法人科学技術振興機構 さきがけ研究員)

北本 朝展 (国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 准教授)

高田 輝子 (大阪市立大学商学部大学院経営学研究科准教授)

中西 泰人 (慶應義塾大学環境情報学部准教授)

松尾 豊 (東京大学大学院工学系研究科総合研究機構准教授)

「情報環境と人」領域 (6件) :

尾形 哲也 (早稲田大学 基幹理工学部 表現工学科教授)

中澤 篤志 (京都大学工学部情報学科准教授、(さきがけ))

三木 則尚 (慶應義塾大学 理工学部 機械工学科教授)

高梨 克也 (京都大学学術情報メディアセンター 産官学連携研究員)

金井 良太 (サセックス大学 (イギリス) Psychology and Sackler Centre for Consciousness Science 准教授)

藤木 淳 (独立行政法人 科学技術振興機構 さきがけ研究員、東京藝術大学 芸術情報センター J S T研究員)

17:50～18:00 閉会挨拶
調整中 (JST)

18:00～20:00 研究交流会

9. 関係部の承認の有無：第三部承認

(*印は、主催分科会委員)

(提案 9)

公開シンポジウム「国家レベルの産業競争力強化の取り組み—欧米における生産技術研究開発プロジェクトの動向—」の開催について

1. 主 催：日本学術会議 機械工学委員会 生産科学分科会
2. 共 催：国際生産工学アカデミー（CIRP）国内委員会，東京大学 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム（GSDM），精密工学会，日本機械学会，日本塑性加工学会，電気加工学会，日本経営工学会，製造科学技術センター，日本工作機械工業会，日本ロボット工業会，日本鍛圧機械工業会，
3. 後 援：経済産業省
4. 日 時：平成 26 年 12 月 11 日（木）13：00～18：00
5. 場 所：東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール
6. 分科会の開催：なし
7. 開催趣旨：

生産技術は，国の競争力の源泉であり，その高度化の努力が国の産業，経済の発展を牽引してきた。欧米各国は，最近の，社会，経済，技術の激しい変化の中で，自国の産業競争力を高めるためには，生産技術の強化こそが最優先事項であることを改めて認識し，国レベルの生産技術研究開発プロジェクトを開始している。一方，我が国では，生産技術の優位性によって産業競争力を長らく保ってきたにも関わらず，最近はその重要性が必ずしも十分に認識されなくなってきた。このことは，生産技術分野での人材育成が十分機能しなくなっていることの一因でもあると思われ，我が国の将来にとって重大な問題であると考えられる。

本シンポジウムでは，欧米および我が国の国家レベルの生産技術研究開発プロジェクトに関わっている方々を招聘し，プロジェクトの狙い，体制，現状などの紹介を受け，それを基に，産業競争力の源泉である高度生産技術研究開発に，我が国が今後どのように取り組んでいくべきなのか，そのために必要な人

材をどのように育てていくべきなのかなどの課題について考えることを目指すものである。

8. 次 第:

司会：柳本 潤*（日本学術会議連携会員，東京大学生産技術研究所教授）

13:00～13:20 ①挨拶

佐脇紀代志（経済産業省製造産業局産業機械課長）

斎藤 保（株式会社 IHI 代表取締役社長，一般財団法人製造科学技術センター理事長）

13:20～14:05 ②米国の取り組み:生産革新のための全米ネットワーク (NNMI)

Professor Scott Smith, University of North Carolina at Charlotte, USA

14:05～14:50 ③英国の取り組み: 英国における革新的生産のための EPSRC センターと高価値生産“カタパルト”プロジェクト

Professor Rajikumar Roy, Cranfield University, UK

14:50～15:35 ④ドイツの取り組み:ドイツにおける生産革新のための研究と研究資金—成功事例

Professor Matthias Kleiner, TU Dortmund University, Germany

15:35～15:55 休憩

15:55～16:40 ⑤我が国の取り組み: 日本の新たなものづくりスタイル確立に向けた取り組み—

佐々木 直哉（内閣府 SIP 革新的設計生産技術担当プログラムディレクター）

16:40～17:50 ⑥パネルディスカッション

モデレータ

上田 完次*（日本学術会議連携会員，東京大学名誉教授 CIRP 会長）

パネリスト

Professor Scott Smith, University of North Carolina at Charlotte, USA

Professor Rajikumar Roy, Cranfield University, UK

Professor Matthias Kleiner, TU Dortmund University, Germany

佐々木直哉（内閣府 SIP 革新的設計生産技術担当プログラムディレクター）

17:50～18:00 ⑦閉会の辞

吉川 弘之 (独立行政法人科学技術振興機構研究開発戦略センターセ
ンター長)

9. 関係部の承認：第三部承認

(*印は、主催分科会委員)

(提案10)

日本学術会議九州・沖縄地区会議主催 学術講演会「いのちの水と生きる
～熊本から世界へ～」の開催について

1. 主 催： 日本学術会議九州・沖縄地区会議
2. 日 時： 平成26年11月3日(月) 14:00～17:00
3. 会 場： ANA クラウンプラザ ホテル熊本ニュースカイ
(熊本市中央区東阿弥陀寺町2番地)
4. 次 第：
 - (1) 14:00～14:10 挨拶
日本学術会議会長 (予定)
谷口 功 (日本学術会議連携会員、熊本大学学長)
 - (2) 14:10～15:10 第一部「講演」
「水防災研究とリスクマネジメント」
山田 文彦 (熊本大学大学院自然科学研究科教授) (予定)

「くまもとの地下水資源研究を世界へ-Gelk-」
嶋田 純 (熊本大学大学院自然科学研究科教授)
 - (3) 15:10～15:30 休憩
 - (4) 15:30～17:00 第二部「パネルディスカッション」
議題「いのちの水と生きるために学術ができること」
コーディネーター(谷口熊本大学長)から趣旨説明後、水に関する産業・行政に関わる各パネリストが水研究に関して大学に期待することを発言する。壇上に残っている講演者(場合によって来場している水研究者)が、それに答える。場合によって来場者からの意見を聴く。
 - (5) 閉会挨拶
日本学術会議九州・沖縄地区会議 代表幹事

(提案 1 1)

日本学術会議北海道地区会議主催講演会「高齢化社会の食と医療～心身の健康のために～」の開催について

1. 主 催： 日本学術会議北海道地区会議，北海道大学
2. 日 時： 平成26年11月14日(金) 13:30～17:20
3. 会 場： 北海道大学 学術交流会館 小講堂 (札幌市北区北8条西5丁目)
4. 次 第：
 - (1) 13:30～13:45 挨拶
日本学術会議会長(予定)
山口 佳三(北海道大学総長)(予定)
 - (2) 13:45～15:15 第一部「若さを保つ食と生活習慣」
講演「がんはどこまで予防できるのか」
浅香 正博(北海道大学大学院医学研究科 特任教授)
講演「(題目未定)」玉腰 暁子(北海道大学大学院医学研究科 教授)
 - (3) 15:15～15:30 休憩
 - (4) 15:30～17:00 第二部「脳を守り、脳老化に挑む」
講演「(題目未定)」
内山 真(日本大学医学部精神科教授)
講演「(題目未定)」
講演者(未定)
 - (5) 17:00～17:15 総合討論、質疑応答
 - (6) 17:15～17:20 閉会の挨拶
上田 一郎(日本学術会議 第二部会員、日本学術会議北海道地区会議運
営協議会 委員、北海道大学理事・副学長)

(提案12)

日本学術会議九州・沖縄地区会議主催 学術講演会「高齢化社会を支える
—地域医療と福祉テクノロジー—」の開催について

1. 主 催： 日本学術会議九州・沖縄地区会議
2. 日 時： 平成26年12月3日（水）12時30分～17時10分
3. 会 場： ホルトホール大分 2F 講義室(大分市金池南町1丁目5番1号)
4. 次 第：
 - (1) 14:00～14:10 挨拶
日本学術会議会長（予定）
北野 正剛（日本学術会議連携会員、大分大学学長）（予定）
 - (2) 14:10～15:30 学術講演会
講演「題目未定」
宮崎 英士（大分大学 医学部医学科教授）
講演「題目未定」
菊池 武士（大分大学工学部福祉環境工学科准教授）
 - (3) 15:30～15:40 休憩
 - (4) 15:40～17:00 学術講演会
講演「題目未定」
松原 悦朗（大分大学医学部医学科教授）
講演「認知症ケアに携わる看護専門職の人材育成」（予定）
三重野英子（大分大学 医学部看護学科教授）
 - (5) 17:00～17:10 閉会挨拶
日本学術会議九州・沖縄地区会議 代表幹事

提案13～14は別添なし。